



# カワキタ 始まる。

今年も11人の初期臨床研修医が入職した。日差しが眩しい4月上旬、眩いばかりの11人の笑顔がそこにある。その笑顔が曇るとき、苦しいとき、悲しいとき、辛いとき、泣きたいとき、そういうときも、いつかは必ずやってくる。どこで研修をしても同じ。それもそうかもしれないが、カワキタで研修する意味は必ずある。笑顔が曇ったとき、助けてくれる人や場所がカワキタにはある。さあ、始めよう。最高の2年間を。



河北総合病院で研修を開始して1年が経ちました。研修開始前と今の河北のイメージは変わりましたか？

研修開始前は毎日夜遅くまで病院に残って、翌日は朝早くから出勤するという研修医生活を思い描いていました。しかし始まってみれば、遅く残る日や早く行かなければならない日は多少あるものの、基本的には業務時間をいたずらに延ばさないような環境作りは出来ていると思います。



労働環境（設備等も含め全ての働く環境）について。

上級医が基本的に優しいのに加えて中堅のドクターもいるので、コンサルトがしやすいです。設備面では、増築に次ぐ増築で、本院・東館・分院・新館・南館・西館と建物が別々になっているので、特に雨の日の移動が大変…あと、夏休みがしっかりと1週間取れるのはいいですね！



病院選びについて、注意事項等も含めて伝えたいこと。

当直の体制に、同期同士や先輩研修医との仲の良さが見るポイントだと思います。また、実際に住む地域なので、病院がある街に自分が住めるかどうかはとても大切です。街のことまで考えないかもしれませんがそこに2年間いることになりますので、街のチェックも忘れずに…



Yuki Sato【Saitama Medical University】

## ✓ 初期臨床研修は河北総合病院で

今年度の11人は出身大学の重複がありませんでした。見事に全員バラバラ。ちなみに昨年度は3つの大学で重複がありました。重複があったり、全員別だったり、このバラつきこそが学園なんてありやしない病院であり、大学名で採用していないことを証明しています。また、昨年度は初めてWeb面接を実施しましたが、これもまた人物重視の面接だからこそ、Web面接の人も、対面の人もこの11人の中にいます。カワキタはアナタを見ます。安心して見学に来ていただき、マッチングにも望んでください。アナタに会えることを、楽しみにしています。